

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

# 豊田こういち レター

Vol.15

発行責任者…同志会  
編集責任者…豊田耕一

## 子育て政策が 出生数に与える影響

子どもを持つかどうかということは極めて個人的な選択の問題であり、敦賀市が首を突っ込むべきではないという意見もありますが、個人が子どもを持つかどうかという選択は社会全体に大きな影響を及ぼします。また、個人の選択を直接指図するような政策は行うべきではないとしても、子どもを持ちたいと思ってもらえる方向へ市民をある程度誘導するような政策には一定の妥当性があると考えています。そこで、今回予算計上された「子育て生活応援事業\*」は出生数の増加に繋がるのかを検証するため一般質問を行いました。

### ※子育て生活応援事業の概要

0歳児へひとりあたり月5万円のマイナポイントが付与される事業。  
1歳児へひとりあたり月3万円 //  
2歳児へひとりあたり月2万円 //  
予算額は今年度が1億3,009万円、来年度以降が年間6億6,117万円。

### 9月定例議会：一般質問

#### 子育て生活応援事業について

## 質問 子育て生活応援事業が出生数に与える影響は?

事業がどのように出生数に影響を与えているのかを確認しましょう。

### 市の答弁

子どもを産み育てることに対する経済的負担感の軽減のみならず、それをプラスのイメージとして捉えるような施策になることを意図する事業で、理想とする子どもの数を持たない世帯に対して、子育てに関する経済的負担を感じる0歳から2歳の子どもがいる世帯に支援を行うこの事業については、出生数の維持、向上に繋がるものと考えています。

現在9歳から18歳まで4人の息子を育てている私の経験から、子育てにお金が掛かるのは3歳児以降の保育や教育費が必要になる時期からであり、小学校、中学校、高校、大学と年齢が上がるにつれて負担が大きくなると捉えています。そうは言っても0歳児から2歳児にもお金は掛かることから、オムツやミルクなど子育てに必要な消耗品を無料配布するよう討論などの場で訴えています。

## 質問 現金給付(マイナポイント)が出生数に与える影響は?

現金給付政策により、出生数の維持もしくは出生数を増加させることが出来ると考える根拠を確認しましょう。

### 市の答弁

出生数の維持、向上を図るためには、現金給付政策のみではなく、あらゆる子育て支援策を通じて、子育てに関する経済的、心理的な不安の軽減を図ることが重要であると考えており、出産直後から子育てにお金が掛かるという低年齢の子どもを持つ家庭に対し、経済的な不安を緩和するため集中的に支援をすることで、出生数の維持、向上に繋がるものと考えています。

➔児童手当や育児休業給付金が出生数に及ぼす影響を調べた研究によれば、いずれの現金給付政策も、必ずしも子どもの数を増やすとは限らないと報告されています。なぜなら、現金給付は子どもの質の向上へ向かうため、子どもを持つことの経済的費用を高めてしまい、出生数の増加に繋がらないからです。

今回の事業は新聞にも掲載されましたので、小さなお子さんをお持ちの方を中心に、事業の開始を楽しみにされていた方もおられたと思います。ただ、子育て生活応援事業は、0歳児から2歳児までの子どもへ毎年6億6,117万円の予算を使い現金給付を行うというもので、それだけ多額の予算が使えるのであれば、保育料完全無償化、幼保の副食費無料、小中学生の給食費無料、条件緩和など検討が必要ですが高等教育完全無償化や給付型奨学金の拡大など、子育て世代全般の市民を対象に、支援を行うような事業が出来ると考え、今回の事業は反対しました。

子どもたちが理不尽に  
生命を奪われないことを願い  
生命のメッセージ展を  
11月17日、18日に  
プラザ萬象で開催します



# 海外へ頻繁に派遣される使節団は必要なのか

## 【発言通告】

海外への使節団の派遣について

- (1) 令和元年度のアメリカへの使節団の派遣
- (2) 令和2年度のリトアニア・ポーランドへの使節団の派遣
- (3) 令和4年度のフランスへの使節団の派遣
- (4) 令和4年度のアメリカ・カナダへの使節団の派遣
- (5) 市民理解及び成果

## 【発言趣旨】

市議会議員はもとより、市長の海外への視察及び使節団の派遣については、多くの市民から厳しい声が寄せられています。そんな中、アメリカ、カナダ及びフランスへの使節団の派遣が今月11日から22日の日程で実施されましたが、3年前にはアメリカへ使節団が派遣され、2年前にはリトアニア・ポーランドへ使節団が派遣される直前で取りやめになりました。このように市長や議長をはじめとした海外への使節団が頻繁に派遣されている現状を目の当たりにして、海外への使節団の派遣は本当に必要なのか、過去の検証を踏まえて一般質問を行いました。

## 質問

### 令和元年度のアメリカ使節団の検証

3年前にアメリカへ行った成果が、ユダヤコミュニティを広げることが出来たこととありましたが、新ムゼウムへのクラウドファンディングは目標額700万円に対して実績は108万円、新ムゼウムの外国人入館者数は令和2年度が32人、令和3年度が81人、令和4年度(8月末時点)が28人で成果が出ているとは到底思えません。改めて令和元年度のアメリカへの使節団の派遣の費用対効果などについて、どのように分析及び検証したのか確認しましょう。

## 市の答弁

令和元年度に使節団が面談し、人道の港敦賀やムゼウムのリニューアルについて、説明をした方々が今年度に入り続々と来敦されています。4月には当時のニューヨーク総領事・山野内在カナダ大使が来敦され、市民向けの講演会を行ってくれたほか、高校生との交流会にも出席してくれました。5月にはアメリカで最も歴史のあるユダヤ団体のひとつであるアメリカユダヤ人委員会の方が敦賀市を訪れています。7月にはアメリカ民主党関係者のコーリー・エバンス、ベッシー・シャクター夫妻が来敦され交流の広がりを確認しています。発信力のある方やユダヤ系の関係者が実際に敦賀市を訪れたことから、アメリカへの使節団派遣は効果があったと認識しています。

市からは費用対効果は弾き出せない、換算することは非常に難しいとの答弁がありましたが、カナダ大使やアメリカユダヤ人委員会の方々、アメリカ民主党関係者が敦賀市を訪れ交流を深めることが出来たことが成果だと言われても、それらの成果が市民の方々のためになっているとは到底思えません。

## 質問

### 本当に市民理解を得られていると 思っているのでしょうか？

今月の11日から22日にかけて、アメリカ、カナダへは市長と議長を含む計6名、フランスへは市長と議長を含む計7名が訪問しましたが、その予算総額は **23,344,000円** にのびります。今までの成果も到底理解出来ない中、今回の使節団の派遣は、本当に市民の理解が得られるのか甚だ疑問です。

## 市長の答弁

今回のアメリカとカナダ、フランスへの使節団の派遣については、前回の6月議会でも承認頂きましたので、議会の理解も、それから市民の皆さんの理解も得られているというふうに思っています。

## 私の考え方は間違っていなかったのです！

前回の「豊田こういちレター」でアメリカとカナダ、フランスへ行くための予算を反対したのが私を含めて3名のみで、ほとんどの議員が賛成したことを受けて、「私の考え方は間違っているのでしょうか？」と編集後記で書かせて頂いたところ、市民を中心にたくさんの方々から、「あなたは間違っていない！」とお言葉を頂き、本当に感謝申し上げます。中には東京のテレビ局からも問い合わせがあり、情報交換などを行いました。

ここで頂いたご意見を一部ではありますが紹介させていただきます。

- アメリカやカナダに数年前にも訪問し、またまた今回も訪問する。小生、頭が悪いのか全く理解出来ません。
- 今の状況で海外研修が適しているかそうでないのか、その判断が少しずれている。
- 海外出張旅費の件は反対、必要ない。
- どのような成果があったのか、要するに費用対効果を問いただして頂きたい。
- 私の知人、友人も多くが疑問、一部あきれていて、どうしても現地に出向かなければならない理由を聞いて欲しい。

## 編集後記

今回の一般質問を行う直前に「おまえも議長になったらアメリカへ行くことになるぞ!」と同僚議員から言われたので、私は「心配せんでも断りますわ!」と答えて質問に臨みました。私にはコロナ禍をはじめ、物価上昇などで苦しんでいる市民のことを考えながら、費用対効果が見込めない海外使節団へ参加することは出来ません。それは、先に書いた「子育て生活応援事業」についても同様で、進学したくても経済的な理由により進学を断念する生徒は敦賀市にもたくさんいます。私も、母親のことを考え進学を断念しましたが、母は、私を進学させるために我慢を重ねてきました。私は、そんな母の姿を見て少しでも楽をさせてあげたいという一心で働き続けました。自分で言うのは憚られますが、私たち親子はお互いのことを思いやって生きてこられたと感謝しています。それは、私たち議員も同様で、敦賀市や市民のこと、将来の子どもたちのことを思いやって行動することが求められているのではないのでしょうか。

## 豊田こういちレター Vol.15

2022年10月31日発行

発行責任：同志会 編集責任者：豊田耕一

このニュースレターは、政務活動費の一部を活用し発行しています

子どもたちが、故郷で  
健やかに育っていくために!

敦賀市古田刈66-803-2  
inforu.toyoda@gmail.com



豊田耕一  
オフィシャル  
サイト

敦賀市議会議員

豊田 耕一

豊田 耕一

検索

